

「ヒトの幹細胞から作成される生殖細胞を用いるヒト胚の作成について」
に関するアンケートについて

2023年10月18日

第141回生命倫理専門調査会
事務局

1. これまでの経緯

○令和4年2月に「ヒト胚の取扱いに関する基本的考え方」（以下、「基本的考え方」）見直し等に係る報告（第三次）（以下「第三次報告」）を取りまとめたところ。

○第三次報告の取りまとめ後、当該分野において新たに検討すべき事項として、「多能性幹細胞（iPS細胞）等からヒト胚に類似した構造や生殖細胞を作成する研究について」を検討することとした。

○検討内容を「ヒトの幹細胞から作成される生殖細胞を用いるヒト胚の作成について」及び「多能性幹細胞等からのヒト胚に類似した構造の作成等について」に二つに分けた。前者の検討にあたっては平成27年に取りまとめた「ヒトの幹細胞から作成される生殖細胞を用いるヒト胚の作成について」（中間まとめ）（以下「中間まとめ」）を起点とすることとした。後者に関しては、作業部会を設けて、検討し、報告をあげていただくことにした。

2. 検討の経過

○議論の起点となる中間まとめを踏まえ3つの論点（①ヒト胚の作成の検討対象の範囲について②生殖細胞の機能性評価のための受精（ヒト胚作成）について③受精の結果生じたヒト胚の取扱いについて）について議論を行うこととした。

3. アンケートについて

○上記の3つの論点については中間まとめにおいても考察されており、それをもとに中間まとめの結論が導き出されている。

○今回の検討では、3つの論点について議論を行ったことから、中間まとめにおいて結論の根拠とした事項について個別の検討は行っていない。このため、これらの事項について現時点ではどのような認識であるのかを明らかとするため、アンケートを行うこととしたい。